



申14号「新幹線業務の変革について」に関する解明申し入れを行う！

JR東労組は、これまで様々な施策に向き合い真摯な労使議論のもと職場からの不安の声を解消し、より良い施策実施に向け取り組んできました。

本社から「電気部門の変革2022」が提案され新幹線と在来線業務を分離し、新幹線専門の技術センター、メンテナンスセンターを新たに設置することが示されています。今回新たに全系統に関わる「新幹線業務の変革について」考え方が示されました。今回の見直しは、新幹線に関する会社発足以降初の抜本的な見直しであるとともに、「変革2027」のもと今後取り組んでいく業務遂行体制の見直しの先駆けとなるものだとされています。しかし、大きな変更になるにも関わらず十分な説明がないまま実施に向け進められています。現に職場では説明を聞いたがよくわからない、異動が発生するのか、所属が変更されると何がかわるのか等、不安な声が出されています。

現場の組合員が、納得感や将来の展望を持って施策を担うためには、内容の詳細を明確にし、確定させていくことが必要です。

8項目の申し入れを行いました！

1. 「新幹線統括本部」を設置する目的を明確にすること。
2. 新幹線現業機関社員の所属を「新幹線統括本部」にする目的を明確にすること。また、変更となる職場を明確にすること。
3. 「労使間の取扱いに関する協約」の変更について明確にすること。
4. 「新幹線統括本部」の全体・エリア・現業機関について、それぞれの規模感を明確にすること。
5. 新幹線業務連携体制について、それぞれの現業機関における連携する業務内容を明確にすること。
6. 今回の見直しにより、異動の発生の有無と労働条件の変更について考え方を明確にすること。
7. 「新幹線統括本部」の設置に伴う、今後の新基地整備・行路移管について中長期的なスケジュールを明確にすること。
8. 「新幹線統括本部」の設置、新幹線現業機関社員の「新幹線統括本部」への所属変更、現業機関と企画部門の相互連携体制の変更について実施日を明確にすること。

職場の声を結集させよう！